

平成30年度学校経営方針及び学校教育目標

I. 学校経営方針

シアトル日本語補習学校は、日本語により日本の教育課程を学び、人間性豊かな国際人として世界に貢献できる人材の育成をめざし、学校教育の充実を図る。

II. 学校教育目標

夢や希望を持ち、一生懸命に学び、健康で豊かな心と人権感覚を身につけた国際人を育成する。

III. 重点目標

1. 確かな学力の定着
基礎基本を大切にした教科指導に努める。
2. 活動意欲を高める
夢や目標をもたせ、誉める・認める機会を多くし、やる気を持たせる指導に努める。
3. チャレンジ精神を高める
自分の良さを発見できる機会をつくり、自信や達成感を感じさせる指導に努める。

IV. 学校運営方針

- (1) 日本国内の新学習指導要領の教育課程に準じた教科内容の定着を図ると共に、日本の言語、文化習慣並びに学校文化を継承し、児童生徒の帰国後の学校生活、社会生活に適應できる素地を養う。
(補習校の設立目的)
- (2) 日本国内の教科カリキュラムが学習出来るよう、学習内容の精選化と重点化を図りながら年間学習指導計画を練り、指導方法や教材等の研究を深め、児童生徒の確かな学力の習得活用・定着・向上に努める。

- (3) 学習の重要な基礎として日本語を大切にし、授業（特に対話学習の場）、学級活動、読書・音読・読み語り、図書室の活用を軸に言語理解、語彙の獲得、伝え合う力、児童生徒の日本語力、知的能力、社会的能力の伸長を図ると共に、豊かな心の育成に努める。
- (4) 学校生活を通して日本の伝統的礼儀作法や習慣についての理解を深め、現地校での経験をとおして両国の生活環境に適応した行動が出来る児童生徒の育成に努める。
- (5) 視聴覚機器をはじめとした効果的な教材教具の十分な活用を図り、適切な学習環境を整える。

V. 努力目標

- (1) 総領事館との連携のもと、園児・児童・生徒の安全の確保に努めると共に、在外教育施設としての適切な危機管理体制の維持に努める。
- (2) 園児・児童・生徒一人一人の課題に気づき、寄り添い、各自の良さを語り、自己有用感と自尊心を高め、基本的学習習慣の一層の確立と社会性の育成に努める。
- (3) あいさつの励行を重視すると共に、生活環境に対し自ら整理整頓、清掃美化に努め精神を育てる。
- (4) 幼小、小中、中高の十分な連携を図り、13年間の系統的なカリキュラム作成、及び園児・児童生徒理解や指導方法の研究交流を行う。
- (5) 学校行事・学年行事等の目標を常に問い直し、大切にし、協働の精神（「ともに」）を培い、限られた時間を活かして感動を体験する機会の創造に努める。
- (6) 教職員の指導力の向上を目指し、OJT（職場実務研修）を推進し、教職員研修、授業研究の充実を図る。
- (7) 図書室の蔵書の充実、読書・音読・読み語りの推進を図ると共に、作品募集への応募等の機会を活かして、表現力を養い、日本語力の伸長を図る。
- (8) 教育カウンセラーを計画的に活用して、児童生徒の心の安定と、学習活動や保護者への援助を行う。
- (9) 保護者とのコミュニケーションを日常的に密に図り信頼関係と協力関係を築く。
- (10) 保護者・PTAとの十分な連携を図るとともに、地域の人材活用を推進し、その教育力に依拠した幅広い児童生徒の育成の機会を広げる。